

Coatings World 社のランキングがまだ発表されません 7月8日

毎年7月恒例 Coatings World 社の世界のトップ塗料メーカーのランキングの発表が遅れています。

と言っても、何月何日に発表しますと正式にアナウンスされているわけでもなく、毎年この時期だからと勝手に期待しているだけなので、あえてブログに書くほどのことはないのですが、私にとっては、世界の塗料業界の動向を知るうえで最も重要視しているランキングであるため、平安時代の歌人たちが、桜の開花をいまかいまかと待ちわびるにも似た心境なのです。ということで今日はこの Coatings World 社のランキングについて書きます。と言っても今年のランキングはまだですので、このランキングがどういうものかという話を中心とします。

Coatings World 社は、塗料業界の動向や新しい原材料の紹介などを主体とした記事を月刊誌として発行する傍ら WEB 配信もしています。そして毎年恒例となっているのが、TOP COMPANIES REPORT です。世界の塗料メーカーのうち、その年度の売上げが1億ドル以上の会社をリストアップしてランキングをしていますので、日本円で言えば100億円強以上の売上げがある会社ということになります。ランキングをするためには、通貨をそろえる必要があり、すべてUSドルに換算した金額で順位がつけられています。このランキングは直近の8年がWEBで見れます。雑誌が手もとにあれば、1997年からのランキングを見ることができます。いずれ1997年からの推移を追ってみたいと思っています。

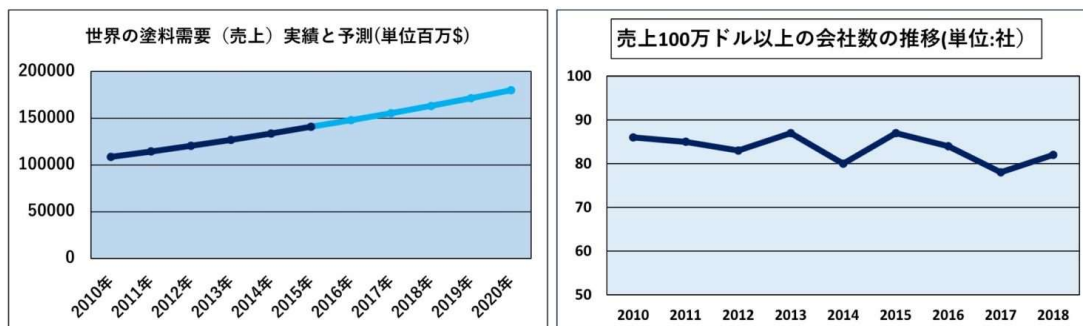
例年ですと80社前後の会社がリストアップされていますが、この数はこの10年ほどほとんど増えていないどころかむしろ減少傾向です。この理由はM&Aが頻繁に行われているためだと考えられています。Coatings World 社は、このランキングについて、単に社外へ発表された数字をそのまま使うのではなく、IRの資料を精査したり時には直接インタビューすることで情報精度を高めているとしています。具体的な例でいうと、日本の会社では、普段日塗工や塗料関係のメディアには、あまり数字が出てこない武蔵塗料ホールディングス株式会社やオリジン電気株式会社の売上金額が報告されたりしています。

とにかく、こうした塗料製造会社のランキングは唯一無二なので、私はこれをベースにして、あとは各社のホームページに直接アクセスして、IR向け資料などから情報を得るようにしています。

このランキングについては少し注意が必要なこともあります。ひとつめはどこまでをランキングの対象とするかです。対象はPaint & Coatingsとなっていますが、このCoatingsという単語の指す意味は結構幅広いので、時としてHenekelやSikaといった企業がランキングに含まれます(メッキもCoatingに入る場合もあります)しかもその線引きが毎年必ずしも一定していません。RPMについては、ほぼ常連として毎年入っていますが、接着剤や防水剤が主体の会社なので、塗料メーカーとは少し違うイメージだと思います。このあたりはランキングを使う方が整理しておかなければならないことでしょう。

参考図：昨年発表のデータから（今年発表のデータではありません）

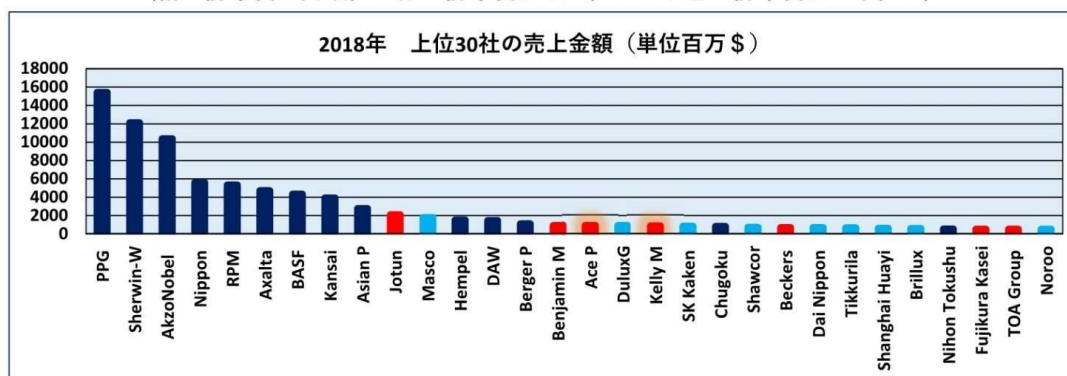
2011-2019年のTOP COMPANIES REPORTより作成した世界の塗料需要と売上100万ドル以上の会社数の推移



世界の塗料需要は増加しているが、売上 100 万ドル以上の会社数はむしろ減少傾向にある

参考図：昨年発表データから世界の上位 30 社（今年の発表データではありません）

2019年のTOP COMPANIES REPORTより作成した世界の塗料メーカー上位30社
(紺：前年度と同順位 赤：前年度より上位へ 水色：前年度より下位へ)



去年発表の上位 30 社です。果たして今年は？

もうひとつは、PPG と Sherwin Williams の首位争いについてです。この Coatings World 紙は明らかに PPG 寄りと思われる。Sherwin Williams が Valsper を吸収合併したとき、誰もが PPG が No.2 に転落と思ったに違いありません。しかし、実際には翌年もそれ以降もずっと PPG が首位でした。Sherwin Williams の売上には、塗装用具がたくさん含まれているとして、売上金額を約 3 割ほどカットしたのです。それまではそのようなことはしていなかったのにです。おかげで Sherwin Williams は念願の 1 位にはなれませんでした。売上から塗装用具を除外することについては議論のあるところではあると思いますが、PPG 寄りと思う理由はまだあります。各社を紹介する個別のコーナーに記載してある KEY EXECUTIVES の数が全然違っており、TOP 3 のうち PPG だけが飛びぬけて多いのです。これは毎年変わっていません。

まあ、これとても、ランキングを利用する側がそのあたりを理解しておけばよいだけですの

で、ランキングの価値を本質から奪うものではありません。ということで私は、Coatings World 社のランキングを心待ちにしているのです。発表されましたら、すぐに速報いたします。